学校の防災活動

縁プロジェクトは、平成28年度において、3校で防災教室を開催し、1ヶ所の区立施設にて、子ども向け防災ゲーム会を開催しました。

松仙小学校　「避難所体験宿泊研修（ドキドキ避難所体験）」　H28.07.23(土)･24(日)開催

５年生と６年生の希望者が実際に学校の体育館に宿泊して、限られた物資で、停電した中一晩をすごし、震災直後の避難所を体験しました。

また、震災の語り部として、５月の「絆音楽祭」で講演をしてもらった、「ＴＴＴ」に被災したときの話を聞きました。

さまざまな疑似体験を通じて、自分たちにできることはなんだろう、ということを常に意識して、それをテーマに話し合いました。

この研修は、サポート松仙（学校支援地域本部）と協働しました。

【子どもたちの感想（抜粋）】
・めったにない体験だったのでとても緊張したけど楽しかった(６年♂)
・備蓄倉庫にはびっくりするような物がたくさんあって驚いた(５年♀)
・ＴＴＴの人たちの話で、着衣泳はとても大切だと思った(６年♂)

中高生を交えてグループ闘技

まち歩きで危険箇所の確認

ツナ缶で簡易キャンドル

TTTの講話

ダンボールで寝床作り

大森第三中学校　「避難所体験宿泊研修（JRC部避難所体験）」　H28.08.26(金)･27(土)

↑アルファ化米を配膳する

大災害発生時に生徒が学校に宿泊することを想定し、そのための必要な準備や課題をみつけ、準備の訓練と課題の解決のために、新井宿地区にある大森第三中学校で宿泊研修を行いました。この研修はＪＲＣ部（Junior Red Cross）の活動の一環として三中ＪＲＣ部のみなさんを対象にしました。

災害時に「中学生ができること」を学び、さまざまな気づきを経験してもらいました。

↑寝床つくり(毛布を出す)

【生徒諸君の感想（抜粋）】
・水がひとり２リットルで二日間を過ごすことがとてもたいへんでした。
・もしもの時に三中を一番知っている私たちがリーダーシップを取れると思いました。
・被災者になってしまうことを日頃から意識して想像することが大切だと思いました。
・グループミーティングでは自分では出せない意見を聞けて、勉強になりました。
・震災に遭ってしまったら、みんなの中心に立ってみんなを助けていきたいです。

東調布第一小学校　「親子で防災サバイバル（防災講習）」　H28.11.19(土)開催

防災を考える上で一番大切なことは「想像力」だと思います。東一小の３・４年生のみんなと保護者のみなさんで、防災クイズとクロスロードゲームを行い、想像力を発揮して防災についてとことん考えてもらいました。

珍答名答想定外。想像力を働かせれば、どんな困難も解決します。

【子どもたちの感想（抜粋）】
・クイズでわかったことは覚えておいて、本当に地震があったときに活用したい。
・クロスロードゲームでは考えたことがバラバラになるものだ、ということがわかった。
【保護者の感想（抜粋）】
・グループ内の意見をまとめるのに苦労した。実際の避難所でどうなることやら…。
・防災についてあらためて家族で話し合いたいと思いました。

↑子どもたちは親権に考える

↑子どもグループの後ろに大人グループ

←「防災すごろく」で遊ぶ

こらぼ大森夏まつり　H28.08.20

縁プロジェクトとして、子ども向け防災ゲームを行いました。

「防災すごろく」と「防災ゲーム シャッフル」を来場した子どもたちや家族連れと一緒に楽しみました。